

一般演題（口頭発表） ★マークは優秀発表賞審査対象演題

化学系① A会場（N棟1階N101教室） 9:30～10:42

座長（五十音順）栗原 崇人（千葉大学大学院薬学研究院）

原田 真至（上智大学理工学部）

A-1 ★Au触媒 vs Ag触媒：2-イミノプロパルギルアルコールの触媒制御型ケモダイバージェント反応

○吉川優翔¹、若菜倫弥¹、渡邊康平²、原口亮介¹

（¹千葉工大院工、²千葉大教）

A-2 ★ハロゲン結合／水素結合供与型ハイブリッド触媒による二酸化炭素固定化

○千葉結生¹、五所凌介¹、山岡桃子¹、吉越裕介²、原口亮介¹

（¹千葉工大院工、²千葉工大工）

A-3 ★可視光を利用したDDQ触媒ベンジル位C-Hトリクロロアセトキシ化反応の開発

○長柄美咲¹、澁谷正俊¹（¹日女大院理）

A-4 ★BODIPY型光増感剤を用いる4-アルキルフェノールの酸化的脱芳香族化反応の開発

○津端詩織¹、吉見紗和²、澁谷正俊²（¹日女大院理、²日女大理）

A-5 ★Ullmann C-Oカップリング反応によるエノールエーテル類の新規合成法の開発

○宮本亜菜、森田瞬也、内呂拓実（東京理大院薬）

A-6 ★マンガン錯体による触媒的酸素付加型ピロリジン骨格構築法の開発

○黒澤直生、山本大介、熊倉優太、牧野一石（北里大薬）

化学系② A会場（N棟1階N101教室） 10:42～11:54

座長（五十音順）澁谷 正俊（日本女子大学理学部）

山本 大介（北里大学薬学部）

A-7 ★超原子価ヨウ素を用いた内部チオアミドによる脱芳香族化反応

○奥田優真¹、根本哲宏¹（¹千葉大院薬）

- A-8 ★Ce 触媒による酸素酸化と塩基による環拡大を伴うイソクロマノン骨格合成
○福島空¹、辻菜々美²、原田真至^{2,3}、根本哲宏²
(¹千葉大薬、²千葉大院薬、³上智大理工)
- A-9 ★窒素ラジカルを利用したイミダゾリン誘導体のモジュラー合成法の開発
○荻野拓海、田湯正法、井田光咲、大類彩、齋藤望 (明治薬大)
- A-10 ★スルフィド触媒を用いた EDA 錯体を介するアルケンの二炭素官能基化反応の開発研究
○出口輝、田湯正法、松隈翔路、大類彩、齋藤望 (明治薬大)
- A-11 ★カルバゾールを基本骨格とするジボロン酸無水物触媒による芳香族カルボン酸の脱水縮合アミド化反応の開発
○藤井悠太¹、小山旺大¹、劉曉東¹、西依隆一¹、嶋田修之¹ (¹日本大文理)
- A-12 ★新規ジボロン酸無水物触媒による不飽和カルボン酸の化学選択的脱水縮合アミド化反応の開発
○広田留美、堀文仁、西依隆一、嶋田修之 (日本大文理)

化学系③ B 会場 (N 棟 1 階 N102 教室) 9:30~10:42

座長 (五十音順) 叶 直樹 (星薬科大学)

中山 淳 (大阪大学大学院薬学研究科)

- B-1 超原子価ヨウ素を用いた PPAR リガンドの合成と構造生物学的評価
○石田寛明¹、朝岡ちひろ¹、岩本遊磨¹、本間翔也¹、伊藤俊将¹ (¹昭和薬大)
- B-2 ★SARS-CoV-2 の 3CL プロテアーゼ活性を検出する qABP の開発
○本間阿羅知¹、今野翔¹、山内勇輝¹、白濱彩音¹、田口晃弘¹、林良雄¹、谷口敦彦¹ (¹東京薬大薬)
- B-3 ★NRPS-TE のリッド領域に着目した環化選択性の解析
○白濱彩音¹、今野翔¹、諸橋美有¹、田口晃弘¹、林良雄¹、谷口敦彦¹
(¹東京薬大薬)
- B-4 ★Trp 残基を環化点とするスルフェニル化型環状ペプチド合成法の開発
○笠間慎平、田口晃弘、志田颯、今野翔、林良雄、谷口敦彦 (東京薬大薬)

B-5 ★非天然アミノ酸を用いた高機能ヘリカル抗菌ペプチドの設計

○佐藤渉¹、伊藤貴仁²、三澤隆史²、出水庸介^{1,2}

(¹横浜市立大学大学院生命医科学研究科、²国立医薬品食品衛生研究所)

B-6 ★セレノメチオニン残基の酸化・脱離によるビニルグリシン残基発生法の開発

○坂本一馬^{1,2}、明野純也^{1,3}、上田善弘^{1,2}

(¹産総研、²筑波大数理物質、³京大院薬)

化学系④ B会場 (N棟1階 N102教室) 10:42~11:54

座長 (五十音順) 石田 寛明 (昭和薬科大学)

今野 翔 (東京薬科大学薬学部)

B-7 ★生体内で利用可能な新規 SIK3 選択的活性化剤の創製研究

○中村賢志郎^{1,2}、須貝智也^{1,2}、池田恵美^{1,2}、西田隼^{2,3}、石川有紀子²、

Salina Neupane^{2,3}、上田壮志^{2,4}、柳沢正史^{2,3}、沓村憲樹^{1,2,3,4}

(¹筑波大院数理物質、²筑波大睡眠研究機構(WPI-IIIS)、³筑波大院ヒューマニクス、⁴藤田医科大学 Mind-BRIDGe)

B-8 ★2, 4, 5-三置換ピリミジン骨格を基盤とした SIK3 選択的阻害剤の創製研究

○赤木愛弥^{1,2}、須貝智也²、長尾るぶりか^{2,3}、西田隼^{2,4}、石川有紀子²、

柳沢正史^{2,4}、沓村憲樹^{1,2,4}

(¹筑波大院数理物質、²筑波大睡眠研究機構(WPI-IIIS)、³筑波大学院人間総合、⁴筑波大院ヒューマニクス)

B-9 ★DNA アプタマーを利用した HER2 分解誘導剤(HER2-LYTAC)におけるリンカー長の最適化

○依田悠聖¹、石森菜摘¹、吉川大和^{1,2}、山田雄二^{1,2}、濱田圭佑^{1,2}

(¹東京薬大院薬、²東京薬大薬)

B-10 ★新規リソソーム移行性受容体を用いた、標的膜タンパク質分解誘導剤 (Lysosome-targeting chimera; LYTAC)の開発

○石森菜摘¹、依田悠聖¹、細井悠暉¹、山田雄二^{1,2}、吉川大和^{1,2}、

濱田圭佑^{1,2} (¹東京薬大院薬、²東京薬大薬)

B-11 ★アゾキシ含有天然物 maniwamycin 類によるがん幹細胞抑制機構の解析

○萩原里咲、井澤なのは、船山佳世、齋藤駿、荒井緑 (慶應大理工)

B-12 ★構造生成器を利用した非天然型テルペン骨格の設計および合成

○村山幸太郎、西村壮央、菊地晴久（慶應大薬）

化学系⑤ C会場（N棟1階N103教室） 9:30～10:42

座長（五十音順）阿部 秀樹（日本女子大学理学部）

根本 哲宏（千葉大学大学院薬学研究院）

C-1 ★抗 SARS-CoV-2 活性を目指した 4'-エチニルシュードウリジンの合成

○佐藤亜海¹、寺田優里¹、鋤田伸好²、服部真一朗²、満屋裕明²、紺野奇重¹

（¹国際医福大薬、²国立健康機器管理研究機構 国立国際医療研）

C-2 ★抗アデノウイルス活性を目指した 7-デアザアデニン構造を有する carbovir 誘導体の合成

○原杏子¹、澤田真効¹、佐藤孝輝¹、高橋輝成¹、小川拓哉¹、紺野奇重¹

（¹国際医福大薬）

C-3 ★C-N 軸不斉チオイミド誘導体の特異な回転挙動

○石毛将暉、青山昌平、南部明花、北川理（芝浦工大工）

C-4 ★安定な C-N 軸不斉構造を有する抗 MRSA 活性キナゾリノンの創製

○中村洸友、王煜翔、飯島和、大森優輝、北川理（芝浦工大工）

C-5 ★Astelloide R における AB 環部の合成研究

○山田健心、大好孝幸、村田佳亮、伊藤久央（東薬大生命）

C-6 ★Pauciflorin C の三環性骨格構築のための合成研究

○神崎将慶、廣田理紗、小林豊晴、大好孝幸、村田佳亮、伊藤久央

（東京薬大生命）

化学系⑥ C会場（N棟1階N103教室） 10:42～11:54

座長（五十音順）米田 友貴（国際医療福祉大学成田薬学部）

李 大葵（北里大学薬学部）

C-7 カジナン型セスキテルペノイドトリコカジニンDの合成研究

○原明花、渡邊紗衣、高山、阿部秀樹（日本女子大理）

C-8 ★2-アザヒポキサンチンの活性発現機構解明を指向したビオチンプローブ分子の合成研究

○太田紗楓¹、大手怜奈¹、崔宰熏²、河岸洋和³、叶直樹^{1,4}、池内和忠^{1,4}
(¹ 星薬大、² 静岡大共創、³ 静岡大農、⁴ 星薬大医薬研)

C-9 ★シクロブタ[cd]ペンタレン骨格の効率的な構築法の開発とその応用

○菊池百音¹、小林誠¹、叶直樹^{1,2}、池内和忠^{1,2}
(¹ 星薬大薬、² 星薬大医薬研)

C-10 ★Streptolactam A の C₆-C₁₇ および C₁₈-C₂₅ フラグメントの合成研究

○松本有矢¹、中島諒²、小山栞³、岩渕好治³、池内和忠^{1,4}、叶直樹^{1,4}
(¹ 星薬大薬、² 星薬大院薬、³ 東北大院薬、⁴ 星薬大医薬研)

C-11 ★有機分子触媒反応を利用したキラルスピロオキシインドールの合成

○武藤優希花、中島康介、五老海梨奈、山田梨緒、小数賀隆亘、松島恭征、平島真一、三浦剛 (東京薬大薬)

C-12 ★有機溶媒依存脱却を目指した水溶性金触媒を用いる水中反応の開発

○千秋妃美¹、橋本善光¹、Norbert Krause²、森田延嘉¹
(¹ 昭和薬大、² ドルトムント工科大)

物理・薬剤系① D 会場 (N 棟 2 階 N201 教室) 9:30~10:30

座長 (五十音順) 植村 武史 (城西大学薬学部)

服部 喜之 (星薬科大学)

D-1 ★CD23 の多量体形成および IgE 認識におけるヒト-マウス種差の構造基盤

○野澤佑太¹、張志寛¹、清水敏之¹ (¹ 東大院薬)

D-2 ★尿中 cfDNA を対象とした 0.01%変異アレル頻度 DNA の高感度 qPCR 法の開発

○福島諒¹、加藤大¹、浜浦託光²、陶山倫央²
(¹ 昭和医大院薬、² 昭和医大薬)

D-3 ★前立腺がんを標的としたフッ素-18 標識 PET プローブ合成の自動化

○百瀬騎生¹、鈴木博元²、甘中健登²、数多伸紀²、上原知也²
(¹ 千葉大薬、² 千葉大院薬)

D-4 ★ニューロメディン B の Cu(II)結合とドパミン酸化抑制能

○栗原卓巳¹、村上直和²、青木美涼²、三浦隆史^{1,2}

(¹ 国際医福大院薬、² 国際医福大薬)

D-5 ★静電的相互作用を利用したアンチセンスオリゴヌクレオチドの体内動態制御

○仲田彩乃¹、三宅うた¹、草森浩輔^{1,2}、板倉祥子^{1,2}、西川元也^{1,2}

(¹ 東京理大薬、² 東京理大総研)

物理・薬剤系② D 会場 (N 棟 2 階 N201 教室) 10:30~11:42

座長 (五十音順) 清水 敏之 (東京大学大学院薬学系研究科)、

米持 悦生 (国際医療福祉大学成田薬学部)

D-6 ★mRNA リポプレックス投与後のタンパク質発現に及ぼす塩基性両親媒性薬物の影響

○川崎颯人¹、服部喜之¹ (¹ 星薬大・分子薬剤学)

D-7 ★mRNA 脂質ナノ粒子と塩基性両親媒性薬物の併用によるタンパク質発現上昇効果に及ぼす脂質ナノ粒子組成の影響

○西山舞耶¹、服部喜之¹ (¹ 星薬大・分子薬剤学)

D-8 ★修正エタノール注入法により調製した脂質ナノ粒子による siRNA および mRNA のがん細胞への送達効率の評価

○山梨誠斗、中村暖陽、長井七海、川野久美、服部喜之

(星薬大・分子薬剤学)

D-9 ★負電荷脂質含有脂質ナノ粒子の免疫細胞への siRNA 送達特性の評価

○中井将人、當山貴流、清水涼平、服部喜之 (星薬大・分子薬剤学)

D-10 ★Neudesin siRNA 封入脂質ナノ粒子の免疫細胞における遺伝子発現抑制効果および免疫応答への影響

○飯淵さくら、石井美里、清水涼平、服部喜之 (星薬大・分子薬剤学)

D-11 ★ドキソルビシン封入リポソーム修飾チミジンキナーゼ発現間葉系間質細胞とガンシクロビル併用の併用による抗腫瘍効果

○田中温大¹、高山幸也²、板倉祥子^{1,3}、西川元也^{1,3}、草森浩輔^{1,3}

(¹ 東京理大薬、² 神戸市立医療センター中央市民病院、³ 東京理大総研)

衛生系① E 会場 (N 棟 2 階 N202 教室) 9:30~10:42

座長 (五十音順) 加藤 英明 (湘南医療大学薬学部)

竹元 裕明 (国際医療福祉大学成田薬学部)

E-1 ★天然保湿因子のビタミンによる産生調節機構の薬学解析

○清水璃音¹、池野朱音¹、日下部竜聖²、富永ななみ²、浅井将^{1,2}

(¹ 横浜薬大薬、² 横浜薬大院薬学)

E-2 ★認知症の早期発見を目指したビタミン K₃ の臨床応用への検討

○高野叶夢¹、田端優登²、西川美宇³、竹岩俊彦⁴、安田佳織⁵、東浩太郎⁶、
生城真一⁷、榊利之⁵、井上聡⁴、廣田佳久^{1,2}

(¹ 芝浦工大院・創薬、² 芝浦工大・生命、³ 宮崎大・農、⁴ 都長寿セ・シ、
⁵ 富山県大・医工、⁶ 東京大院・医、⁷ 富山県大・生工)

E-3 ★ビタミン K のフェロトーシス抑制作用およびマウス認知機能改善効果

○川村悠¹、加藤彩花¹、渡邊莉菜¹、畠中一颯¹、石川柁希¹、武田一貫²、
加藤主税³、竹腰進⁴、須原義智¹、廣田佳久¹

(¹ 芝浦工大院・生命創薬、² 北里大・獣医、³ 静岡大・農、⁴ 東海大・医)

E-4 ★コーヒーによるヒストン脱アセチル化と MYC 転写プログラムの抑制

○趙洋樹¹、青山和正¹ (¹ 慶應大薬)

E-5 ★皮膚常在真菌 *Malassezia globosa* による黄色ブドウ球菌の病原性制御機構の
解明

○山口桜花¹、張音実¹、杉田隆¹ (¹ 明治薬大)

E-6 ★病原真菌 *Trichosporon asahii* における Zinc finger domain を有する転写因子 ZF5
が担う病原性における役割

○清水優太¹、松本靖彦¹、杉田隆¹ (¹ 明治薬大)

生物系① E 会場 (N 棟 2 階 N202 教室) 10:42~11:42

座長 (五十音順) 多胡 めぐみ (慶應義塾大学薬学部)

西村 和洋 (国際医療福祉大学成田薬学部)

E-7 ★CWC22 活性評価を目的とした Split-GFP 検出系の開発

○大塚佑実子、岩田明日翔、金城智子、宮崎拓郎 (昭和医大薬)

E-8 蛍光標識ビタミン K 誘導体を用いた細胞内マルチオルガネラ動態解析

○安藤優成¹、山田陸¹、山口華奈¹、佐野翔¹、横井彩佳¹、杉山成²、
千田美紀³、千田俊哉³、須原義智¹、廣田佳久¹
(¹ 芝浦工大院・生命創薬、² 高知大・生命理工、³ KEK・構造生物)

E-9 ★電子伝達系阻害に対する肝細胞癌細胞の感受性を規定する AMPK 依存的適応機構

○内田桃子、日暮大渡、中川英嗣、石川文博、宮崎拓郎、柴沼質子、森一憲
(昭和医大院薬)

E-10 ★GTP 合成酵素および GTP 認識酵素が増殖や遊走に及ぼす影響

○多田知真¹、芦澤大輝¹、横井胡太郎²、藤川雄太³、竹内恒⁴、佐々木敦朗⁵、
廣田佳久^{1,5}
(¹ 芝浦工大院・生命創薬、² 芝浦工大・生命、³ 東薬大・生命、⁴ 東大院・薬、
⁵ シンシナティ大・医)

E-11 ★疾患適応型ペイロード設計による IL-7R 標的 ADC 創薬プラットフォーム構築

○濱田源実¹、安永正浩¹ (¹ 国立がん研セ)

生物系② F 会場 (N 棟 2 階 N203 教室) 9:30~10:30

座長 (五十音順) 土屋 裕義 (自治医科大学医学部)

森脇 康博 (慶應義塾大学薬学部)

F-1 ★熱処理により調製したアポトーシス間葉系間質細胞の関節リウマチ治療への応用

○秋田蓮¹、板倉祥子^{1,2}、西川元也^{1,2}、草森浩輔^{1,2}
(¹ 東京理大薬、^{1,2} 東京理大総研)

F-2 ★ヒト・アストロサイトーマにおけるヒスタミン H₁ 受容体を介したインターロイキン-1β 発現の細胞内シグナル伝達経路の解明

○飯星陽介^{1,2}、道永昌太郎^{1,2}、栗原美咲²、高井望来^{1,2}、小川泰弘^{1,2}、
菱沼滋²、山口 憲孝¹ (¹ 明治薬大・細胞分子薬理、² 明治薬大・薬効)

F-3 ★単離ミトコンドリア移植が生体免疫応答に及ぼす影響

○那須文音¹、板倉祥子^{1,2}、西川元也^{1,2}、草森浩輔^{1,2}
(¹ 東京理大薬、^{1,2} 東京理大総研)

F-4 ★新規 TAZ 標的遺伝子の同定とその転移制御機構

○松下紗弥、橋崎礼奈、中川英嗣、森一憲 (昭和医大薬)

F-5 ★リンパ管内皮細胞に高発現する lincRNA の同定とその発現意義の解析

○津久井優希¹、北岡諭¹、田村英紀²、渡辺知恵¹、奥輝明²、安藤祐介^{1,2}
(¹城西大薬、²星薬大)

生物系③ F 会場 (N 棟 2 階 N203 教室) 10:30~11:42

座長 (五十音順) 秋好 健志 (慶應義塾大学薬学部)

古地 壯光 (城西大学薬学部)

F-6 ★変形性膝関節症治療への応用を目指したミトコンドリア導入間葉系間質細胞の機能評価

○斉藤章晴¹、板倉祥子^{1,2}、西川元也^{1,2}、草森浩輔^{1,2}
(¹東京理大薬、²東京理大総研)

F-7 ★植物含有新規ビタミン K に対する COQ5 の重要性と生理的役割の評価

○須藤駿太¹、嶋田羽奈乃²、須原義智¹、鎌尾まや³、臧黎清⁴、島田康人⁵、
Simon Miller⁶、千田美紀⁶、千田俊哉⁶、廣田佳久¹
(¹芝浦工大薬・創薬、²芝浦工大・生命、³神戸薬大・Ex セ、⁴三重大・地域
イノベ、⁵三重大・医、⁶KEK・構造生物)

F-8 ★小胞体-細胞膜接合部の脂肪酸組成の解明に向けた単離の試み

○五十嵐恵美、佐藤綾花、石橋賢一、斎藤将樹、厚味厳一 (帝京大薬)

F-9 ★重力環境変化と放射線による宇宙環境様複合ストレスが細胞に及ぼす影響の解明

○松原玲美¹、溝口湧真¹、北畠和己¹、上村真生²、月本光俊¹
(¹東京理大院薬、²東京理大先進工)

F-10 ★TLR7 刺激誘発 IL-6 産生における TRPC5 チャネルの関与の解明

○佐藤美緑、北畠和己、月本光俊 (東京理大院・薬)

F-11 ★好中球細胞外トラップによる炎症応答に対する LDL の増強効果

○岩倉春姫^{1,2}、小濱孝士^{1,2}、牧山智彦^{1,2}、宮崎拓郎^{1,2}、板部洋之¹
(¹昭和医大院薬、²昭和医大病態分子生化学研セ)

薬理・薬物治療系① G 会場 (O 棟 2 階 O201 教室) 9:30～10:42

座長 (五十音順) 大澤 匡弘 (帝京大学薬学部)

小菅 康弘 (日本大学薬学部)

G-1 ★周期的覚醒剤刺激による睡眠・行動リズムと深部体温リズムの分離機構

○橋本莉子¹、酒井裕也¹、菊池紘明¹、大須賀颯¹、浜田和子¹、浜田俊幸¹
(¹国際医福大薬)

G-2 ★メタンフェタミンによって誘発される脳内神経変性時期に関する研究

○酒井裕也¹、橋本莉子¹、菊池紘明¹、大須賀颯¹、浜田和子¹、浜田俊幸¹
(¹国際医福祉大薬)

G-3 ★単離ミトコンドリアがアルツハイマー病モデル神経細胞に及ぼす影響

○横尾優和¹、後藤雅弥¹、尾花柊¹、板倉祥子^{1,2}、西川元也^{1,2}、草森浩輔^{1,2}
(¹東京理大薬、²東京理大総研)

G-4 ★Aβ分解促進作用を有するイマチニブのアルツハイマー病治療への応用

○日下部竜聖¹、森下蒼樹²、浅井将^{1,2} (¹横浜薬大院薬学、²横浜薬大薬)

G-5 ★ニコチン性アセチルコリン受容体調節因子 Ly6H の脳内発現領域の同定

○岩瀬陸人¹、揣雅涵²、辻祥太郎³、井上直和⁴、田中謙二²、大江知之¹、
森脇康博¹ (¹慶應大薬、²慶應大医、³群馬医療福祉大医療技術、⁴福島県医)

G-6 ★マウス胎児由来の神経幹細胞の増殖およびニューロン分化に対する

Cannabidiol の影響

○浦辻伊織、加藤大雅、落合和 (星薬大)

薬理・薬物治療系② G 会場 (O 棟 2 階 O201 教室) 10:42～11:54

座長 (五十音順) 坂本 謙司 (帝京大学薬学部)

田村 和広 (東京薬科大学薬学部)

G-7 ★毛の時計遺伝子 *Per1* を用いた糖尿病未病段階の評価と早期介入の可能性

○大須賀颯¹、菊池紘明¹、酒井裕也¹、橋本莉子¹、浜田俊幸¹、浜田和子¹
(¹国際医療福祉大薬)

G-8 ★かんぴょうが STZ 誘発 1 型糖尿病モデルマウスの病態進行に及ぼす影響
○菊池紘明¹、大須賀颯¹、酒井裕也¹、橋本莉子¹、浜田和子¹、浜田俊幸¹
(¹ 国際医福大薬)

G-9 ★VEGFR 阻害薬 axitinib による硝子体へ伸長する網膜血管の抑制
○駒路勇人、大塚健太、森田茜、出口粧央里、尾高椋介、柏原俊英、中原努
(北里大・薬・分子薬理)

G-10 NMDA 誘発網膜神経傷害に対する apremilast の神経保護作用
○坂本謙司¹、石井千尋¹、深澤梨咲子¹、上園崇¹、森麻美¹ (¹ 帝京大薬)

G-11 ★薬物性 QT 延長症候群に対する硫酸マグネシウムの抗不整脈作用特性
○水野沙紀、神林隆一、相本恵美、永澤悦伸、高原章 (東邦大薬)

G-12 ★線虫敗血症病態モデルにおける運動機能変化の解析
○橋本蒔子¹、坂本多穂¹ (¹ 国際医療福祉大薬)

医療系① H 会場 (O 棟 2 階 O202 教室) 9:30~10:30

座長 (五十音順) 金光 祥臣 (新潟大学医歯学総合病院薬剤部)
道永 昌太郎 (明治薬科大学)

H-1 ★肺がん細胞の放射線細胞応答における TRPC5 チャネルの役割の解明
○大畑七海、北畠和己、月本光俊 (東京理大院薬)

H-2 ★悪性黒色腫での放射線抵抗性における TRPC6 チャネルの関与の解明
○佐藤雄大、北畠和己、月本光俊 (東京理大院薬)

H-3 ★消化管間質腫瘍細胞のゴルジにおける変異 KIT キナーゼの安定化機構
○羽田野文人^{1,2}、柚木原りさ子^{1,3}、松本音々^{1,4}、椎名勇^{3,4}、西田俊朗¹、
小幡裕希¹ (¹ 国がんセ、² 科学大院理、³ 東京理大院理、⁴ 東京理大理)

H-4 ★(SyNQA) : 相互作用を考慮したマイクロバイオームの特徴量選択のための組み
合わせ最適化フレームワーク
○有田和生¹、宮崎智¹ (¹ 東京理大院薬)

H-5 ★腫瘍微小環境を模倣した条件下におけるスルファサラジン封入リポソームのシスチン取り込み阻害作用の評価

○伊東晃太、呉くんよう、濱野展人、石原比呂之（東京薬大薬）

医療系② H 会場（O 棟 2 階 O202 教室） 10:30～11:30

座長（五十音順）大原 宏司（日本大学薬学部）

平井 利典（東京科学大学病院薬剤部）

H-6 ★テイコプラニン過剰曝露の 1 例：早期再投与における残存濃度の影響

○宮澤みなみ¹、木村元範^{1,2}、今岡鮎子^{3,4}、秋好健志^{3,4}、上菟義典⁴、
松下弘道⁴、大谷壽一^{2,3,4}

（¹慶應大院薬、²慶應大病院薬、³慶應大薬、⁴慶應大医）

H-7 ★数理モデルに基づくラサギリンの非線形薬物動態解析

○米澤拓都¹、三浦一輝²、小澤優太郎²、山岸喜彰^{1,2,3}、工藤敏之^{1,2,3}、
伊藤清美^{1,2,3}（¹武蔵野大院薬、²武蔵野大薬、³武蔵野大薬研）

H-8 ★妊娠期の ritodrine 使用による胎児への曝露と新生児低血糖症に関する研究

○石井愛理、小黑咲良、加藤大雅、落合和（星薬大）

H-9 オキサリプラチン過敏症を有する BRAF V600E 変異陽性切除不能大腸癌患者に対し脱感作療法を用いて mFOLFOX6+エンコラフェニブ+セツキシマブ療法を施行した一例

○東湧真^{1,2}、風岡真実²、榎本浩也³、吉田雄貴²、永岡大輝²、高崎新也^{1,4}、
工藤正純²

（¹国際医福大院、²那須医療センター薬剤部、³同外科、⁴国際医福大）

H-10 薬剤業務向上加算における薬剤師出向の取り組み—第 2 報—

○島田浩明¹、渡辺雄介¹、本間真人¹、新山竹浩²、中西利恵²、後藤英和²、
本名数隆²、吉田正²（¹筑波大病院薬、²医療法人清風会 ホスピタル坂東）